

# 「あかつき」に続いて収穫できる 「モモ福島18号」と「モモ福島19号」の特性

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

## 1 部門名

果樹－モモ－育種・選抜

## 2 担当者名

志村浩雄、秋山祐輝、佐久間宣昭、高橋堯之

## 3 要旨

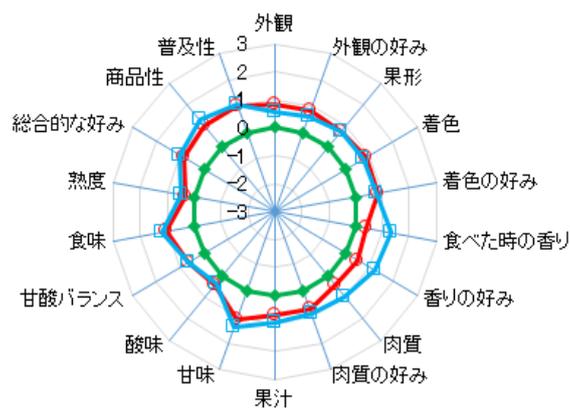
収穫期が「あかつき」に続く「モモ福島18号」と「モモ福島19号」の発育と果実特性を明らかにした。「モモ福島18号」は果実が大きく、「モモ福島19号」は香りが豊かで、両系統ともに糖度が高く食味良好である。

- (1) 収穫期は両系統ともに「まどか」と同時期で、8月上～中旬頃である。開花期は「あかつき」、「まどか」と同時期で、花粉を有する(表1)。
- (2) 「モモ福島18号」は、果実が扁円形で大きく、着色は良好である。「モモ福島19号」は、果実が扁円形でやや大きく、着色は中程度である。両系統ともに糖度が高く(表1)食味良好で、日持ち性は「まどか」と同程度である(データ省略)。
- (3) 官能検査の評価では、両系統ともに外観、食味に優れ、商品性、普及性も高い評価である。特に、「モモ福島19号」は、香りや肉質が優れる傾向が見られる(図1)。

表1 発育特性と果実品質(2022～2025年平均)

系統・品種	満開	収穫期			果実重 (g)	糖度 (° Brix)
		始	盛	終		
モモ福島18号 (原木)	4/12	8/3	8/7	8/11	332	16.4
(複製)	4/13	8/4	8/9	8/13	359	15.0
モモ福島19号 (原木)	4/11	8/4	8/7	8/12	326	16.6
あかつき	4/11	7/23	7/27	8/2	340	13.3
まどか	4/11	8/4	8/7	8/10	360	14.7

注)複製樹は2024～2025年平均。



—●— モモ福島18号 —■— モモ福島19号 —◆— まどか(対照)

図1 官能検査による品質評価

注)「まどか」を基準(0)として評価 (n=46)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル果樹品種の育成(福島県産農産物競争力強化事業(研究)、JAグループ福島からの寄附)

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 「あかつき」とリレー出荷できる食味良好な「モモ福島18号」の育成、令和3年度参考となる成果
- (2) 「あかつき」とリレー販売できる大玉で食味良好な「モモ福島19号」を選抜しました、令和5年度参考となる成果